

令和3年における労働災害発生状況

確定値

北海道労働局労働基準部安全課

業種別労働災害発生状況 その1

令和3年1月1日～令和3年12月31日(確定)

北海道労働局

業種別	令和3年			令和2年			対前年		業種割合 (%)	令和2年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
全産業合計	59	8,088	8,147	51	7,684	7,735	412	5.3	100.0	51	7,684	7,735
製造業	3	1,214	1,217	6	1,138	1,144	73	6.4	14.9	6	1,138	1,144
食料品		654	654	3	606	609	45	7.4	8.0	3	606	609
木材・家具	1	111	112	1	90	91	21	23.1	1.4	1	90	91
紙・印刷		19	19		29	29	-10	-34.5	0.2		29	29
窯業・土石	1	48	49		42	42	7	16.7	0.6		42	42
金属・機械		172	172	1	189	190	-18	-9.5	2.1	1	189	190
その他	1	210	211	1	182	183	28	15.3	2.6	1	182	183
鉱業		2	2				2		0.0			
土石採取業	1	23	24	1	22	23	1	4.3	0.3	1	22	23
建設業	20	939	959	14	889	903	56	6.2	11.8	14	889	903
土木工事業	11	348	359	6	314	320	39	12.2	4.4	6	314	320
建築工事業	6	377	383	6	322	328	55	16.8	4.7	6	322	328
木造建築業	1	118	119		144	144	-25	-17.4	1.5		144	144
その他	2	96	98	2	109	111	-13	-11.7	1.2	2	109	111
交通運輸事業	1	241	242	3	211	214	28	13.1	3.0	3	211	214
陸上貨物運送事業	8	856	864	6	823	829	35	4.2	10.6	6	823	829
道路貨物運送	8	795	803	4	771	775	28	3.6	9.9	4	771	775
陸上貨物取扱		61	61	2	52	54	7	13.0	0.7	2	52	54
港湾運送業		21	21		18	18	3	16.7	0.3		18	18
林業	1	73	74	4	77	81	-7	-8.6	0.9	4	77	81
水産業	3	127	130	3	141	144	-14	-9.7	1.6	3	141	144
商業	8	1,232	1,240	4	1,126	1,130	110	9.7	15.2	4	1,126	1,130
清掃・と畜業	2	398	400	3	454	457	-57	-12.5	4.9	3	454	457
上記以外の事業	12	2,962	2,974	7	2,785	2,792	182	6.5	36.5	7	2,785	2,792

第13次労働災害防止計画進捗状況

12月末同月比(確定)

	死亡災害			死傷災害		
	被災者数	増減数	増減率	被災者数	増減数	増減率
基準年(平成29年)	81			6,676		
4年目(令和3年)	59	-22	-27.2%	8,147	1,471	22.0%

第13次労働災害防止計画の目標
 平成29年と比較して令和4年までに…
 ・死亡者数を20%以上減少させる。
 ・死傷者数を5%以上減少させる。

業種別労働災害発生状況 その2

令和3年1月1日～令和3年12月31日

北海道労働局

「上記以外の事業」の内訳

業種別	令和3年			令和2年			対前年		業種割合 (%)	令和2年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
農業	3	112	115		100	100	15	15.0	1.4		100	100
畜産業	1	275	276	2	306	308	-32	-10.4	3.4	2	306	308
金融・広告業	1	46	47		41	41	6	14.6	0.6		41	41
映画・演劇業		5	5		4	4	1	25.0	0.1		4	4
通信業		156	156		160	160	-4	-2.5	1.9		160	160
教育・研究業	1	74	75		61	61	14	23.0	0.9		61	61
保健衛生業	1	1,557	1,558		1,470	1,470	88	6.0	19.1		1,470	1,470
接客娯楽業	3	382	385	1	323	324	61	18.8	4.7	1	323	324
その他の事業	2	355	357	4	320	324	33	10.2	4.4	4	320	324
合計	12	2,962	2,974	7	2,785	2,792	182	6.5	36.5	7	2,785	2,792

「第三次産業」の内訳

業種別	令和3年			令和2年			対前年		業種割合 (%)	令和2年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
商業	8	1,232	1,240	4	1,126	1,130	110	9.7	15.2	4	1,126	1,130
うち 小売業	5	975	980	2	910	912	68	7.5	12.0	2	910	912
金融・広告業	1	46	47		41	41	6	14.6	0.6		41	41
映画・演劇業		5	5		4	4	1	25.0	0.1		4	4
通信業		156	156		160	160	-4	-2.5	1.9		160	160
教育・研究業	1	74	75		61	61	14	23.0	0.9		61	61
保健・衛生業	1	1,557	1,558		1,470	1,470	88	6.0	19.1		1,470	1,470
うち 社会福祉施設		994	994		771	771	223	28.9	12.2		771	771
うち 医療保健業	1	550	551		677	677	-126	-18.6	6.8		677	677
接客・娯楽業	3	382	385	1	323	324	61	18.8	4.7	1	323	324
うち 飲食店	1	185	186	1	142	143	43	30.1	2.3	1	142	143
うち 旅館業	1	102	103		89	89	14	15.7	1.3		89	89
うち ゴルフ場		46	46		38	38	8	21.1	0.6		38	38
清掃・と畜業	2	398	400	3	454	457	-57	-12.5	4.9	3	454	457
その他の事業	2	355	357	4	320	324	33	10.2	4.4	4	320	324
うち 警備業	1	84	85	1	91	92	-7	-7.6	1.0	1	91	92
合計	18	4,205	4,223	12	3,959	3,971	252	6.3	51.8	12	3,959	3,971

令和3年における死亡災害発生状況 [確定]

令和3年1月1日～令和3年12月31日

北海道労働局

業種	令和3年		令和2年同期		対前年比較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
全産業	59 (7)	100.0	51 (18)	100.0	8	15.7	19	57.6
製造業	3 ()	5.1	6 (1)	11.8	-3	-50.0	-2	-40.0
鉱業	1 ()	1.7	1 ()	2.0				
建設業	20 (1)	33.9	14 (4)	27.5	6	42.9	9	90.0
交通運輸事業	1 ()	1.7	3 (2)	5.9	-2	-66.7		
陸上貨物運送事業	8 (2)	13.6	6 (4)	11.8	2	33.3	4	200.0
港湾運送業	()		()			-		-
林業	1 ()	1.7	4 ()	7.8	-3	-75.0	-3	-75.0
その他の事業	25 (4)	42.4	17 (7)	33.3	8	47.1	11	110.0

(注) 1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

令和3年における死亡災害発生状況(その他の事業の内訳)

令和3年1月1日～令和3年12月31日

北海道労働局

業種	令和3年		令和2年同期		対前年比較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
その他の事業	25 (4)	100.0	17 (7)	100.0	8	47.1	11	110.0
小売業	5 (3)	20.0	2 (1)	11.8	3	150.0	1	100.0
医療保健業	1 (1)	4.0	()		1	-		-
社会福祉施設	()		()			-		-
清掃・と畜業(ビルメン テナンス業を除く)	1 ()	4.0	2 (1)	11.8	-1	-50.0		
ビルメンテナンス業	1 ()	4.0	1 ()	5.9				
ゴルフ場の事業	()		()			-		-
警備業	1 ()	4.0	1 (1)	5.9			1	-
農業・畜産業	4 ()	16.0	2 (1)	11.8	2	100.0	3	300.0
水産業	3 ()	12.0	3 ()	17.6				
その他	9 ()	36.0	6 (3)	35.3	3	50.0	6	200.0

(注) 1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

令和3年 死亡災害発生状況

令和3年1月1日～令和3年12月31日

北海道労働局

業種別	1号		2号		3号	4号		5号		6-2号		7-2号		その他業	合計												
	製造業	うち木材木製品製造業	鉱山保安法適用事業	土石採取業	建設業	道路貨物運送業	その他の運輸業	陸上貨物取扱業	港湾運送業	林業	水産業	その他業															
年別																											
平成23年	4	1			3	10	14	1		1	5	6	21	65													
平成24年	8					27	10	1		1	4	4	28	83													
平成25年	6				1	22	7	2		1	4	4	17	64													
平成26年	4				1	22	6	2			4	6	20	65													
平成27年	7				2	25	10	3			4		12	65													
平成28年	7				1	30	13	1	1	1	5	2	18	77													
平成29年	8				2	23	10	2			5	5	26	81													
平成30年	11	1				17	11				6		18	63													
令和元年	10					20	6	2			8	1	15	62													
区分月別	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	
年別																											
令和2年	1月						2	2									1	1			1	1	4	4			
	2月						1	3			1	1						1			2	3	4	8			
	3月	1	1					3				1						1	1	1	3	6	5	13			
	4月	1	2	1	1			3				1						1		1		6	1	14			
	5月		2		1			1	4			1					1	2		1		6	2	16			
	6月		2		1			2	6			1					1	3		1		6	3	19			
	7月		2		1			1	7			1					1	3		1	2	8	3	22			
	8月	1	3		1				7	1	1	2	3					3	1	2		8	5	27			
	9月		3		1			2	9		1		3	2	2				3	1	3		8	5	32		
	10月	2	5		1			1	10		1		3		2				3		3	1	9	4	36		
	11月	1	6		1			1	11	2	3		3		2				3		3		9	5	41		
	12月		6		1			1	12	1	4		3		2				1	4		3	5	14	10	51	
令和3年	1月								1	1														1	1		
	2月							1	1		1								1	1			1	1	3	4	
	3月								1	3	4								1				1	3	7		
	4月							2	3		4								1				1	2	9		
	5月							1	4		4								1	3	3	4	5	8	17		
	6月							3	7		4								1		3	3	8	6	23		
	7月	1	1					6	13		4								1		3	2	10	9	32		
	8月		1						13	2	6	1	1						1		3	2	12	5	37		
	9月		1					1	14		6		1						1		3	1	13	2	39		
	10月		1					2	16	1	7		1						1		3	3	16	6	45		
	11月	1	2	1	1			1	17	1	8		1						1		3	1	17	6	51		
	12月	1	3		1			1	18	1	9		1						1		3	5	22	8	59		
対前年	件数	1	-3	±0	±0	±0	±0	±0	±0	-2	6	±0	4	±0	-2	±0	-2	±0	±0	-1	-3	±0	±0	±0	8	-2	8
同期比	百分率	-	-50.0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	-66.7	42.9	±0	100.0	±0	-66.7	±0	-100.0	±0	±0	-100.0	-75.0	±0	±0	±0	57.1	-20.0	15.7

(注) 昨年の数字は確定値である。

令和3年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況

令和3年1月1日～令和3年12月31日

北海道労働局

事故の型番号	業種番号 業種	業種										起因物番号																										
		1 製	2 鉱	3 土	4 建	5 道	6-2 陸	7-2 港	8 林	9 水	10 そ	11 起 因 物	12 原 動 機	13 木 材 加 工 機 械	14 建 設 用 機 械	15 金 属 加 工 用 機 械	16 一 般 動 力 機 械	17 車 両 系 木 材 伐 出 機 械 等	21 動 カ ク レ ー ン 等	22 動 カ 力 運 搬 機 物	23 乗 力 器 器	31 圧 力 容 器	32 化 学 容 器	33 溶 接 装 置	34 炉 ・ 窯 等	35 電 気 設 備	36 人 力 機 械 工 具 等	37 用 具	39 そ の 他 の 装 置 設 備	41 仮 設 物 ・ 建 築 物 ・ 構 築 物 等	51 危 険 物 ・ 有 害 物 等	52 材 荷 料	61 荷 等	71 自 然 環 境 等	91 そ の 他 の 起 因 物	92 起 因 物 な し	99 分 類 不 能	
1	墜落、転落	2	1	5	2			1		4	15			2	2	1		2									3	5										
2	転倒			1						2	3			1	1																						1	
3	激突																																					
4	飛来、落下			1						1	2							1									1											
5	崩壊、倒壊									1	1																										1	
6	激突され			5	1						6		1						2																1	2		
7	はさまれ、巻き込まれ	1		2						5	8		2		3		1	2																				
8	切れ、こすれ			1							1				1																							
9	踏抜き																																					
10	おぼれ									1	1																										1	
11	高温、低温の物との接触			2	1					1	4																										4	
12	有害物等との接触			1							1												1															
13	感電																																					
14	爆発																																					
15	破裂				1						1				1																							
16	火災																																					
17	交通事故(道路)			1	2					4	7							2	5																			
18	交通事故(その他)										3								3																			
19	動作の反動・無理な動作																																					
90	その他			1	1	1				3	6																										5	1
99	分類不能																																					
	合計	3	1	20	8	1		1	3	22	59		6	8	1	1	9	8			1					4	5	1	8	5	2							

令和3年 署別・業種別死亡災害発生状況

令和3年1月1日～令和3年12月31日

北海道労働局

業種別	1号		2号		3号	4号		5号		6-2号	7-2号	その他 の事業	合計
	製造業	うち木材木 製品製造業	鉱山保安法 適用事業	土石採取業	建設業	道路貨物 運送業	その他の 運輸業	陸上貨物 取扱業	港湾運送業	林業	水産業		
署別													
札幌中央	1				3	1						8	13
札幌東					3	1	1					2	7
函館					1							1	2
小樽													
岩見沢												2	2
旭川	1	1			2	1						1	5
帯広						2						2	4
滝川													
北見					3	2							5
室蘭					1							2	3
釧路						1							1
名寄					1						3	1	5
留萌													
稚内				1	3								4
浦河					1							1	2
苫小牧	1				2					1		1	5
倶知安												1	1
計	3	1		1	20	8	1			1	3	22	59

令和3年 署別・業種別死傷災害発生状況

令和3年1月1日～令和3年12月31日

北海道労働局

業種別 署別	全産業合計	製 造 業							鉱 業		建 設 業				交通運輸事業	陸上貨物運送事業			港湾運送業	林業	水産業	商 業		社会福祉施設	飲食店	清掃・と蓄業	左記以外の事業	対前年比増減率		
		計	食品製造業	木材・家具	紙・印刷	窯業土石製品	金属・機械	その他製造業	鉱山	土石採取業	計	土木工事業	建築工事業	木造建築業		その他建設業	計	道路貨物運送業				陸上貨物取扱業	計						小売業	その他商業
札幌中央	1,360	125	62		7	2	31	23		2	114	23	57	18	16	58	134	114	20		1	1	257	194	63	151	47	112	358	16.1%
	1,579	115	50	6	5	4	27	23		2	121	30	63	11	17	66	137	119	18	2		1	264	201	63	277	57	110	427	
札幌東	1,550	190	116	2	1	4	34	33			162	57	70	21	14	70	208	185	23				287	223	64	176	31	100	326	8.1%
	1,675	211	135	5	4	1	32	34			172	52	87	18	15	73	258	231	27				332	253	79	218	36	93	282	
函館	584	123	78	13	2	2	20	8		1	104	51	27	14	12	12	56	56			6	35	92	82	10	37	8	24	86	7.7%
	629	141	104	8	1	4	13	11		1	95	52	28	7	8	13	44	44			14	15	91	70	21	88	14	28	85	
小樽	229	61	40	1	2		4	14		1	16	9	4	2	1	4	27	25	2	5	1	25	21	4	27	2	11	49	45.0%	
	332	82	46	5		1	6	24		1	31	10	16	2	3	8	27	22	5	3	1	33	26	7	22	3	14	103		
岩見沢	263	51	16	4	1	10	14	6		3	44	21	8	9	6	2	27	27					34	32	2	29	4	15	54	-14.4%
	225	56	19	3	1	12	4	17		1	33	18	7	6	2	9	32	29	3				32	30	2	16	5	8	33	
旭川	735	95	43	16	3	1	19	13			59	21	18	15	5	9	63	63			6		94	75	19	112	9	43	245	-17.6%
	605	95	35	28	2	2	17	11		2	78	20	42	5	11	19	65	64	1		9		80	67	13	81	15	43	118	
帯広	561	94	67	5	1	2	8	11		6	76	23	22	17	14	9	58	58			17	3	55	43	12	53	10	22	158	16.9%
	657	107	72	10	1	3	13	8		7	80	29	28	15	8	4	62	61	1	2	22	5	73	59	14	95	11	21	168	
滝川	151	26	6	2	1	2	8	7		1	25	14	9		2	8	8	7	1		1		24	18	6	10	1	10	37	5.3%
	159	28	2	5		3	8	10		1	24	13	9		2	4	13	13				2	31	27	4	16		10	30	
北見	363	66	44	11	1	2	6	2			48	22	19	3	4	6	38	36	2		10	23	53	44	9	22	5	18	74	-0.8%
	360	73	45	13		2	6	7		1	52	25	12	11	4	7	34	33	1		4	20	51	40	11	25	5	15	73	
室蘭	229	25	9			1	11	4		1	36	5	19	7	5	5	17	17		1	2	1	39	34	5	39	1	18	44	-4.4%
	219	37	8			2	15	12			29	7	16	3	3	4	17	17		2	2	1	37	31	6	20	2	5	63	
釧路	475	73	38	8	2	3	5	17		1	75	20	21	21	13	14	61	61		6	7	31	54	48	6	35	3	29	86	-4.2%
	455	83	41	5		2	17	18	1	4	57	15	22	10	10	23	46	45	1	8	4	24	78	64	14	34	11	16	66	
名寄	176	44	18	10	2	3	2	9		1	25	14	5	2	4		18	18			14	11	13	12	1	8	3	8	31	-2.3%
	172	45	28	10		2		5	1		28	20	2	5	1	1	17	17			4	15	23	22	1	10		1	27	
留萌	61	15	11		1			3			9	3	5	1			7	7			3	6	5	5		2	1	7	6	6.6%
	65	12	9				1	2			10	5	2	1	2	1	4	4			2	6	6	6		10		2	12	
稚内	94	23	18	1			3	1			10	5	3	1	1	1	8	7	1		3	14	11	9	2	4	1	4	15	39.4%
	131	15	13					2		2	24	10	8	2	4	2	5	5			4	27	19	13	6	2		4	27	
浦河	185	11	5	1		1	1	3		2	15	4	5	4	2		6	6			2	14	8	8		6	1	1	119	-2.7%
	180	4	2			1		1			21	9	3	8	1		5	5			1	6	4	4		5	3		131	
苫小牧	596	104	28	15	5	8	23	25		3	57	17	24	6	10	14	86	81	5	6	7	4	66	54	12	54	15	28	152	-2.2%
	583	96	32	13	5	8	13	25		2	78	32	31	9	6	7	92	88	4	4	5	2	76	59	17	58	21	25	117	
倶知安	123	18	10	2		1	1	4		1	28	11	12	3	2	2	7	7			1	1	13	10	3	6	1	7	38	-1.6%
	121	17	13	1		2		1			26	12	7	6	1	1	6	6			2	2	10	8	2	17	3	5	32	
合計	7,735	1,144	609	91	29	42	190	183		23	903	320	328	144	111	214	829	775	54	18	81	144	1,130	912	218	771	143	457	1,878	5.3%
	8,147	1,217	654	112	19	49	172	211	2	24	959	359	383	119	98	242	864	803	61	21	74	130	1,240	980	260	994	186	400	1,794	
対前年比増減率	5.3%	6.4%	7.4%	23.1%	-34.5%	16.7%	-9.5%	15.3%		4.3%	6.2%	12.2%	16.8%	-17.4%	-11.7%	13.1%	4.2%	3.6%	13.0%	16.7%	-8.6%	-9.7%	9.7%	7.5%	19.3%	28.9%	30.1%	-12.5%	-4.5%	

(注)本統計は死傷病報告による死傷件数である。上段は前年、下段は当年である。

令和3年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況

令和3年1月1日～令和3年12月31日

北海道労働局

事故の型番号	業種番号												起因物番号																											
	1	2	3	4	5	6-2	7-2	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	21	22	23	31	32	33	34	35	36	37	39	41	51	52	61	71	91	92	99				
事故の型	製業	鉱業	土石採取業	建設業	道路貨物運送業	その他の運輸交通業	陸上貨物取扱業	港湾運送業	林業	水産業	その他の事業	計	原動機	動力機	木材加工機	建設用機械	金属加工用機械	一般動力機	車両系木材伐出機械等	動力クレーン等	動力運搬機	乗物	圧力容器	化学装置	溶接装置	炉・窯等	電気設備	人力機械工具等	用器具	その他の装置設備	仮設物・建築物・構築物等	危険物・有害物等	材料	荷等	自然環境等	その他の起因物	起因なし	分類不能		
1 墜落・転落	146		12	289	228	9	7	4	6	7	483	1191				25		8	3	11	272	14				2	3	304	23	430		8	23	63		2				
2 転倒	323	1	3	116	175	86	16	4	11	25	1,395	2155			1	9		6	1		37	35				4	37	82	34	####		33	40	740	10	63				
3 激突	34		1	36	42	11	5	2	1	16	136	284				10	2	8		3	36	23					15	29	30	88		2	17	13	3	5				
4 飛来・落下	67	1	1	83	39	1	2	3	13	6	84	300			5	10	4	14	1	9	17	4				2	19	48	23	11		70	42	19	1	1				
5 崩壊・倒壊	15			28	12		2	1	1		19	78			1												8	10	2	12		20	15	10						
6 激突され	52		1	52	33	3	4	3	16	11	160	335			5	21	3	9	3	15	32	8	3				34	33	7	14		20	9	105	6	8				
7 はさまれ・巻き込まれ	242		4	107	64	8	5	3	5	26	266	730	1	10	18	32	38	151	4	33	151	22	1		3	1		50	42	27	30		34	26	53	3				
8 切れ・こすれ	102			77	3	2			13	5	170	372			65		27	91		2	3	1				1	112	14	10	8		30		5	2	1				
9 踏抜き				6							2	8																	1		2		5							
10 おぼれ											1	1																								1				
11 高温・低温の物との接触	44			15	5	1			1		66	132						6		1	3	1	1	1	5	5	1	2	19	28	5	6	5		42	1				
12 有害物等との接触	7			8	2					1	8	26						2												1		19	1		2					
13 感電				2								2															1									1				
14 爆発	2										5	7																						6						
15 破裂					1						1	2						1													1									
16 火災	1										2	3																					2							
17 交通事故(道路)	14			29	58	41	8		2		156	308				2		1		1	65	234						1								4				
18 交通事故(その他)											3	3																												
19 動作の反動・無理な動作	110		2	66	129	36	11	1	4	23	682	1064			1	2	2	7			27	8					1	23	37	18	138		18	127	62	37	556			
90 その他	58			45	12	44	1		1	7	974	1142																	3	1	2					18	1,085	33		
99 分類不能											1	1																											1	
合計	1217	2	24	959	803	242	61	21	74	130	4614	8147	1	10	96	111	76	304	12	75	643	356	5	1	11	6	12	304	622	205	1763	33	246	299	1138	1148	670			

令和3年 製造業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
3	7	9時台	化学工業	10人未満	墜落・転落	動力運搬機	被災者は、運送業者のウイングボディ型トレーラーの荷台に積み上げられた導管を荷卸するため、フォークリフトのフォークにパレットを挿して高さ約2.3mに上げ、上の導管をずらしてパレットに積む作業をしていたところ、地面に墜落したものの。
3	11	9時台	木材・木製品製造業	10人以上29人	墜落・転落	仮設物・建築物・構築物等	被災者は集じん室に集積された木屑の上でスコップを用いて木屑をならしていたところ、生き埋めとなったもの。 集じん室とは木材加工で発生した木屑を集積する縦横約4メートル、高さ約6メートルの建屋である。
3	12	13時台	窯業土石製品製造業	10人以上29人	はさまれ・巻き込まれ	動力運搬機	被災者はベルトコンベヤー（長さ約9m、幅約0.8m）のヘッドプーリーとスナッププーリーとの間に右腕を挟まれ、意識不明の状態であるところを通りかかった同僚に発見されたが、その後、死亡したものの。

令和3年 建設業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
3	2	13時台	土木工事業	10人未満	激突され	環境等 7 1 2	他の伐倒作業者が伐倒しようと追い口を入れたが倒れなかったことから、一時的に放置した偏心木(広葉樹、樹高2.2m、胸高直径30cm)が何らかの要因により倒れ、付近で玉切り作業をしていた被災者の背中に当該伐倒木の枝(長さ7m、直径6cm)が激突したものの。
3	4	12時台	土木工事業	10人以上29人	巻き込まれ、	動力運搬機 2 2 1	被災者は、坂道に駐車していた車両の位置を動かそうとしたが、キーがなかったことから、1人で車輪付きのジャッキを使用し、当該車両を動かそうと車体前方を持ち上げたところ、当該車両が動き出し、轢かれたもの。
3	4	13時台	その他の建設業	10人未満	交通事故(道路)	乗物 2 3 1	被災者は工事現場で打ち合わせ後、自らワゴン車を運転して自社営業所に向かっていたが、当該ワゴン車が道路を逸脱してトンネル入口のコンクリート面に前部が衝突した状態で発見されたもの。
3	6	11時台	土木工事業	10人以上29人	激突され	環境等 7 1 2	民有林において、当日までに伐木した木の枝払をチェーンソーで行っていたところ、作業区域に接していた立木が根むくれを起こし倒れ、当該木に激突された。災害当時は、強風が吹いていた(気象庁の記録によると、災害発生時刻の現場周辺の平均風速は、8.4m/s、瞬間最大風速は、15.9m/s)。
3	6	15時台	土木工事業	30人以上49人	墜落、転落	一般動力機械 1 6 9	用水路に沿って小型特殊農耕用トラクターを走行させ草刈作業を行っていた際に、トラクターが用水路側に横滑りしたため、ハンドルを切って元の位置に戻ろうとしたが、操縦席のある前方が用水路反対側を向いたことで、トラクター後方に取り付けられたモア(草刈り機用アタッチメント)が用水路に飛び出し、モアの重量を支えられずに、反転する形で用水路に転落したものの。
3	6	7時台	土木工事業	30人以上49人	飛来、落下	用具 3 7 2	雨水管・ますの布設工事現場において、土留め壁として使用していた敷鉄板(長さ3m、重さ約800kg)をクレーン機能付きドラグ・ショベルにて吊り上げ、仮置き場に降るそうと回転したところ、途中で敷鉄板が地面に接触したことで玉掛用つりチェーンのフックから敷鉄板が外れ、付近で別作業を行っていた被災者が下敷きになったもの。
3	7	14時台	その他の建設業	10人以上29人	墜落、転落	仮設物・建築物・構築物等 4 1 8	被災者は、送電線建設工事現場において、高さ約5.9mの中間鉄塔の頂部付近で、鉄塔間の架線中に金車(ロープで吊った滑車)から架線用ロープが脱落しないよう監視する作業に就くため、一人で当該鉄塔に登った。約10分後、鉄塔下の地面に墜落している被災者が発見されたもの。被災者はフルハーネス型の墜落制止用器具とU字つり腰ベルトの2丁を着用していた。

令和3年 建設業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
3	7	16時台	土木工事業	10人未満	巻き込まれ、はさまれ	一般動力機械 169	被災者は、同僚らとともに河川敷の草刈り作業を行っていた。被災者は他の労働者から少し離れた位置で大型の草刈り機(長さ約2.5m、幅約1.7m、高さ約1.3m)を運転していたが、終了時刻になっても戻らなかったため、同僚が被災者の様子を確認に行ったところ、機械の後方で下敷きとなった状態で発見された。
3	7	8時台	建築工事業	10人未満	激突され	建設用等機械 141	被災者はビル解体工事現場の地下3階で敷き鉄板の清掃作業に従事していたが、別の作業場所へ移動するため、コンクリートガラの山を徒歩で通過していた。一方、テレスコラムはそのコンクリートガラに向けて、アームを地下3階へ下げたところ、被災者はそのポケットに激突されたもの。
3	7	15時台	建築工事業	10人未満	墜落、転落	建設用等機械 141	豚舎の底部の取付工事のため、被災者はトラクター・ショベル(機体重量3.1t)を運転して資材を搬入し、作業を終えて坂道を下りようとしたところ、重機が路肩を踏み外し運転していた重機とともに転落し、運転席外に投げ出されたことで重機の下敷きになり死亡したもの。
3	7	15時台	土木工事業	10人以上29人	高温・低温の物との接触	環境等 715	被災者らは市道の維持作業のため、道路沿いを手押し式草刈機で草刈り作業中、被災者が作業をしながらふらついていたため、近くに停車していたパッカー車の車内で冷房をつけて休憩をさせていたところ、被災者の意識が朦朧となったため、救急車を要請、病院に搬送されたが約1時間30分後、熱中症により死亡したもの。
3	9	10時台	建築工事業	10人未満	切れ、こすれ	一般動力機械 169	被災者は建築物解体現場において、ダイヤモンドブレードを装着したエンジンカッターを用いて基礎梁を切断し終え、次の基礎梁に移動するため引き上げるようにブレードを抜こうとしたところ、勢い余ってエンジンカッターのブレードが回転した状態で被災者の首に当たったもの。
3	10	11時台	建築工事業	10人未満	墜落、転落	仮設物・建築物・構築物等 415	木造2階建て住宅の屋根及び外壁の塗装工事現場において、被災者は屋根塗装作業中、高さ約3.7メートルの足場外側に墜落したもの。
3	10	15時台	土木工事業	10人以上29人	転倒	建設用等機械 143	海岸保全工事現場において、つり上げ荷重65トンのクローラクレーンにパイプ・ハンマーを取り付けた基礎工事事用機械を使用して、矢板引き抜き作業を行っていた際、基礎工事事用機械がつり方向に傾き、そのまま回転して運転室が上下逆の状態では消波ブロック上に激突する形で転倒し、運転室にいた被災者が死亡したもの。ジブは根本が折れ曲がり、引き抜いていた矢板はジブ先端に引っ張られるように折れ曲がっていた。

令和3年 建設業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
3	11	10時台	土木工事業	10人以上 29人	有害物等との接触	溶接装置 3 3 2	被災者はプレハブの物置内で、電動工具用先端工具を発電機能兼用溶接機を用いて、電動サンダーやアーク溶接を行い製作していた。 当初開いていた物置のドアが閉まっていたため、被災者の様子を見に行った者が、仰向けで倒れている被災者を発見。被災者は救急車で搬送されたが、一酸化炭素中毒により死亡したものの。
3	11	15時台	土木工事業	10人以上 29人	激突され	材料 5 2 1	被災者は、河川の樋門工事現場において鋼矢板5枚(長さ2.1m、幅0.6m、重量130kg)の打設作業中、移動式クレーンにより運搬してきた鋼矢板を設置箇所に降し、30cm程度埋め込んだ状態で玉掛用具を外したところ、当該鋼矢板が倒れ下敷きとなったもの。なお、鋼矢板はつりクランプ1個を用いて玉掛し、クレーンでつり上げ運搬されていた。また、鋼矢板の接地箇所の土質は、非常に緩い状況であった。
3	7	17時台	建築工事業	10人以上 29人	高温・低温の物との接触	環境等 7 1 5	被災者は、事業場資材置場内で型枠資材の整理作業を終え、敷地内の休憩室に戻ろうとした際、脱水症状を発症、同僚が休憩室内で給水等の手当を施し、被災者は快方に向かったため帰宅したが、翌日、容態が急変し救急搬送され熱中症により死亡したものの。
3	11	14時台	建築工事業	10人未満	墜落・転落	用具 3 7 1	被災者は解体工事現場において、建物の天井に近い部分をガス溶断作業に従事していたが、脚立付近で倒れているところを発見されたもの。
3	12	15時台	建築工事業	10人以上 29人	激突され	動力運搬機 2 2 2	被災者は休憩のため解体作業場所から現場事務所向かう途中、本件工事の発注者の労働者が運転するフォークリフトと接触し轢かれたもの。フォークリフトは専用アタッチメントでフレコンバッグを4つ吊っており、前の視界が制限された状況であったもの。

令和3年 陸上貨物運送事業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
3	3	15時台	道路貨物運送業	100人以上 299人	交通事故（道路）	動力運搬機 2 2 1	被災者は、軽トラックに単独乗車して、工場へ戻る途中、道路から逸脱して用水路に転落したものの。
3	3	21時台	道路貨物運送業	10人未満	交通事故（道路）	動力運搬機 2 2 1	被災者は、14tの荷（1箱10kg×1400箱）を最大積載量18.6tのトラックに積み込み走行中、緩やかなカーブでトラックは横転し、そのまま路外に逸脱したものの。
3	3	14時台	道路貨物運送業	10人以上 29人	墜落・転落	用具 3 7 1	被災者は、会社敷地内において、脚立を使用してトレーラーシャーシに積載されたコンテナ（L=7.52m、B=2.45m、H=2.2m）側面のコーキング作業を行っていたところ、脚立から転落し、頭部を地面に打ちつけたものの。
3	8	6時台	道路貨物運送業	50人以上 99人	破裂	一般動力機械 1 6 9	被災者は、当該事業場の工場棟で、ミキサー車に搭載する給水タンクを単独で製作していたが、突然大きな音が聞えたため、工場棟内を確認したところ、被災者が一部破損したタンクの下敷きとなっていたもの。
3	8	11時台	道路貨物運送業	10人未満	高温・低温の物との接触	環境等 7 1 5	選果場内の選果業務を請け負っている派遣先事業場にて、勤務していた被災者が11時10分頃、顔面蒼白、発汗を伴い、意識不明となり倒れ、呼びかけにも反応がなく、医療機関に搬送途中に心肺停止状態となり、死亡が確認されたもの。
3	10	11時台	道路貨物運送業	10人以上 29人	墜落・転落	動力運搬機 2 2 1	山中の建設現場に向け、コンクリートプラントからミキサー車を運転し出発した被災者の車両が、到着予定時刻を過ぎても建設現場に到着しないため、コンクリートプラントの職員が山中を捜索したところ、作業道から転落しているミキサー車を発見したものの。
3	12	12時台	道路貨物運送業	10人以上 29人	激突され	動力運搬機 2 2 1	被災者は、私有林の林道上で木材グラブ機のアタッチメントを修理中、林道上を後退してきた貨物自動車（14トントラック）に激突されたもの。

令和3年 林業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
3	2	8時台	林業	10人以上 29人	墜落・転落	一般動力機械 171	被災者は道有林の林道脇にある木材の仮置き場にて、グラップルソーを運転中、他の労働者の乗用車が来たため、グラップルソーを一旦、路肩に移動したところ、約60m下の崖下に転落し、グラップルソーの下敷きになったもの。

令和3年 その他の業種における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
3	2	11時台	その他の接客娯楽業	30人以上 49人	墜落、転落	仮設物・建築物・構築物等 4 1 5	被災者は同僚1名とともに事業場の寮(木造2階建て)の屋根(片流れ)に上り、軒先付近で雪庇落とし作業に従事していたところ、屋根に積もっていた雪(高さ約2m)が一斉に動き出し、雪とともに落下して埋まったもの。
3	5	8時台	その他の商業	50人以上 99人	巻き込まれ、はさまれ、等	動力クレーン 2 1 2	被災者は移動式クレーン(6.5tラフタークレーン)の前輪の異常について点検をするため、当該移動式クレーンのアウトリガーを張り出し車体を浮かせた状態で、左前輪と車体の間に立ち入り、下部にハンドルを戻すよう指示したところ、前輪が動いた時に前輪と車体の間(20cm)に挟まり胸部を強く圧迫されたもの。
3	5	6時台	水産業	10人未満	交通事故(その他)	乗物 2 3 1	漁船(9.7トン)にロシア船籍の運搬船(662トン)が衝突し、漁船が転覆して乗組員3人が死亡、1人が休業したものの。
3	5	6時台	水産業	10人未満	交通事故(その他)	乗物 2 3 1	同上
3	5	6時台	水産業	10人未満	交通事故(その他)	乗物 2 3 1	同上
3	6	13時台	医療保健業	300人以上	交通事故(道路)	乗物 2 3 1	社有車を運転して会社事務所へと戻る途中、差し掛かった交差点で右側から走行してきたワゴン車と出会い頭に衝突し、全身を強く打ち死亡したものの。
3	6	20時台	清掃・と畜業	300人以上	おぼれ	環境等 7 1 3	停電復旧工事の交通誘導員として入場していた被災者が、作業途中に行方不明となり、翌日、湖底で被災者が発見されたもの。災害発生当日、暴風雨であり、停電復旧作業の都合上明りが全て消されている状態であった。
3	6	11時台	清掃・と畜業	30人以上 49人	巻き込まれ、はさまれ、等	建設機械等 1 4 1	事業場敷地内において、同僚の運転するトラクター・ショベル(車両系建設機械、機体質量11t)が通過した後に、うつ伏せになって倒れている被災者が発見されたもの。倒れた被災者の頭部付近の地面には血痕が残っていた。トラクター・ショベルは敷地内の屋内保管ヤードから製品置場に向かってRPF(廃棄物固形燃料)を運搬する途中だった。
3	7	18時台	旅館業	100人以上 299人	巻き込まれ、はさまれ、等	一般動力機械 1 6 9	被災者は、事業場が運営するゴルフ場の管理業務に従事する労働者だが、作業を終え、退勤の打刻をした後、事業場の敷地内にある車両保管場所前の道路上、トラクターを普段停車している場所から約28メートル坂を下った場所で、エンジンが停止し、ギアがニュートラルの位置でサイドブレーキの引かれていないトラクターの後部に取り付けた草集機の下敷きになった状態で発見された。

令和3年 その他の業種における死亡災害

発生年	発生日	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
3	7	13時台	その他の事業	30人以上 49人	巻き込まれ	建設機械等 1 4 1	ガス配管工事現場において、ドラグ・ショベルの誘導に従事していた被災者が、後進で走行してきたドラグ・ショベルのキャタピラに轢かれたもの。
3	8	16時台	農業	30人以上 49人	高温・低温の 物との接触	環境等 7 1 5	災害発生日、被災者は、ビニールハウス内において8時からきゅうりの収穫、誘引作業を行っていたが、16時30分頃、同僚に体調不良を訴え、17時頃から休憩室で体を冷やした。やや回復したため、送迎車で帰宅していたが、途中、17時40分頃、車内で意識を失い死亡したもの。
3	8	18時台	農業	10人未満	巻き込まれ	一般動力機械 1 6 9	被災者は、破碎機を用いた作業を終え、同機械を通常と異なる位置へ停車する作業を一人で行っていた。被災者が終業時間を過ぎても戻らないため、捜索したところ、被災者が同機械と倉庫の外壁面に挟まれた状態で発見されたもの。
3	9	11時台	教育・研究業	50人以上 99人	墜落 転落	一般動力機械 1 6 9	乗用草刈機を運転して事業場構内の草刈りを行っていた被災者が、法面(高さ約2.5m、傾斜約33度)の下で、横転した乗用草刈機の下敷きになっているところを同僚に発見されたもの。
3	10	13時台	卸売業	10人以上 29人	飛来 落下	動力運搬機 2 2 2	被災者は配達先で平ボデートラックの荷台の鳥居部と後あおりに斜めにかけ渡して積まれたリップ溝形鋼(C形鋼)30本の束(長さ12m、重さ1.5t)を降ろす作業において、荷台上でフォークリフトを誘導していた。フォークリフトが鋼材の束を持ち上げたところ、鋼材が滑り、被災者とともに地上に落下し、被災者は鋼材の下敷きになったもの。
3	10	16時台	農業	10人未満	転倒	一般動力機械 1 6 9	事業場敷地内における閉鎖されたゴルフ場跡地において、乗用草刈機(四輪駆動式、車両重量350kg)にてコース内の草刈り作業を行っていた被災者が窪地で横転した草刈機の下敷きになったもの。
3	11	14時台	土石採取業	50人以上 99人	墜落 転落	建設機械等 1 4 2	被災者は砂の採取現場内において、ドラグ・ショベルを使用して採取痕の池(水深3m程度)の埋め戻し作業を行っていたところ、ドラグ・ショベルが池の中に転落して水没したもの。
3	11	3時台	小売業	10人以上 29人	交通事故(道路)	乗物 2 3 1	被災者は自家用車に乗り新聞(朝刊)配達業務に従事中、次の配達先へと移動するため交差点進入したところ、右側より走行してきた車両と衝突したもの。
3	10	11時台	卸売業	10人以上 29人	転倒	起因物なし 9 2 1	被災者は開店準備作業中に転倒し、床に頭部を打ち付け、救急搬送され治療を受けたがその後死亡したもの。

令和3年 その他の業種における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
3	12	16時台	畜産業	30人以上 49人	崩壊、倒壊	環境等 7 1 1	被災者は、牧場敷地内にて水道管を新設するために機械掘削(ドラグ・ショベル)で掘削した側溝(幅70cm、深さ1m35cm、長さ32m30cm、土留めなし)内に立ち入って作業を行っていたところ、崩壊した土砂に埋まった状態で発見されたもの。
3	12	12時台	小売業	10人未満	交通事故(道路)	乗物 2 3 1	被災者は社用車で得意先から別の得意先に向かっていったところ、対向車線にはみだし、対向してきたトラックと衝突したもの。
3	12	9時台	小売業	30人以上 49人	墜落、転落	用具 3 7 1	被災者は、倉庫内に置かれた物置の上に保管されてある部品を取り、当該物置に立掛けたはしご(アルミ製伸縮式)を下りていたところ、高さ2.2mの踏み棧に右足をかけた際、はしごの下端が滑って倒れ、アスファルトの地面に墜落したもの。
3	12	11時台	小売業	10人以上 29人	交通事故(道路)	乗物 2 3 1	被災者は、納車先に自動車で移動中、対向車線にはみ出し、対向車線を走行していた貨物自動車に衝突したもの。
3	12	8時台	飲食店	10人未満	墜落、転落	仮設物・建築物等 4 1 3	被災者は清掃準備のため、店舗の地下から1階へ上がり、周囲の照明を消して、通路へ向かおうとしたところ、誤って階段から転落したもの。

死亡労働災害の概要(令和4年3月把握分)

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
							当月把握分の死亡労働災害はありません。